

**江別市立中央小学校
スタートが/キュラム
2026**

1年生 4月 第1週 4月 7日(火) ~ 4月 10日(金)

テーマ

はじめまして 小学校！

学校の様子や生活の仕方を知り、期待をもって楽しむ。また、小学校入学により新しく出会った教師や友だちとともに元気に生活する。

ねらい

- 小学校の生活環境になじみ、安心して楽しく生活する。
- 朝の準備の仕方を知り、自分で取り組もうとする。
- 交通のルールを守り、安全に登下校する。
- 教師や友だちの名前を知り、あいさつをしたり、言葉をかわしたりする。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 基本的な生活習慣を身につける。
- 一日の流れを知り、時計を見ながら見通しをもって生活する。
- ふれあい遊びや集団遊びを通して、かかわりを深める。
- 自分が感じたことや体験したことを言葉で相手に伝える。

生活の視点

なかま

- 新しい友だちがいっぱいいることを知る。
- 同じクラスの子供たちと積極的に話し、友だちになろうとする。
- 教師が話す時には、きく姿勢を保ち、話の内容をしっかり理解する。

げんき

- 小学校での生活習慣やきまりを理解し、楽しい学校生活をスタートさせる。
- 小学校生活に必要なものを知り、使い方を身につける。
- 小学校での一日の流れを理解し、チャイムを知る。

じぶん

- 教師や友だちについて知り、親しみをもつ。
- 今までの経験をもとに、新しいことにも興味・関心をもつ。
- 小学校での新しい生活に、楽しみや期待をもち、さまざまな人やものにかかわろうとする。
- 自分の思いや考えを、はっきりと相手に伝えるように自分の言葉で伝える。

まなび

- 学校生活に必要なさまざまなことを知り、前向きな姿勢で取り組む。
- 学校生活で新たに学ぶことや、初めて知ることに対して、喜びを感じ、楽しんで取り組もうとする。
- 学校生活で出会う言葉や文字、数や数量に対して好奇心をもち、理解しようとする。

家庭・地域

- 学級通信を通して子供の様子を知らせたり、行事やもち物などを知らせたりし、子供がスムーズに学校生活を送れるようにする。
- 地域ボランティアの人と連携をはかり、登下校の子どもの安全を確保する。

幼稚園・保育園

- 幼稚園・保育園での一人一人の様子や家庭環境などを情報交換する。

小学校

- 小学校全体で1年生を迎え、見守る体制づくりをする。

指導のポイント

小学校の楽しさを伝える

- 授業や生活の中で、遊びの要素を取り入れながら活動し、緊張感を和らげながら楽しめるようにする。

基本的な生活習慣や

基本姿勢を身につけさせる

- 授業や遊び、生活の中で、子供ができたことを認め、自信をもたせる。

- 学校での基本的な生活習慣を丁寧に伝え、確実に身につけさせる。

- 元気にあいさつや返事ができるように繰り返し指導する。

- 自分勝手な行動を見逃さず、注意・指導する。

これまでの経験を活かし、
自信をもって取り組ませる

- 幼稚園・保育園で行っていた遊びを取り入れ、環境が変わる中でも自信をもって生活できるきっかけをつくる。

- 授業や生活の中で、幼稚園や保育園で行ってきたことを思い出させたりしながら、自分ができることとして自信をもたせる。

環境づくり

クラスに子供を迎える準備

クラスの壁面を飾って楽しい雰囲気作りをしたり、在校生が歓迎する機会を設けたりするなど、楽しい学校生活のスタートが切れるようにする。

掲示物を使ってわかりやすく

朝の準備を絵や文字で表したり、声の物差しを用いたりして、視覚的に示しながら指導する。

親しんできた遊具や用具を使って

幼稚園・保育園で使ってきた遊具や用具を用意し、遊んできたことなどを取り入れる。

<4月第1週 主な行事予定>

□4月 7日 (火) 入学式

□4月10日 (金) 発育測定

学習内容例 第1週目 ※1時間の弾力的な使い方 20分 5分 休憩20分など

朝の活動～6年生との交流⇒読み聞かせ・手遊び・校歌・学校クイズなど

～登校したら、自分でできるように～

- ① ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート掛けにかける。
- ② 提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまう。(ロッカーの使い方)
- ③ 朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認(下校先の確認)

国語 「はるがきた」 音読に親しむ 読み書きせ など ※書写スタートブックの活用

生活 わくわく どきどき はじめのいっぽ
・挨拶、返事、椅子のしまい方や、靴のしまい方
※幼児期の経験を生かして・自己紹介・友達づくりの活動

学活 学校の約束や交通ルール、下校の並び方や歩き方について

音楽 うたってうごいて、みんなでおんがく
図工 すきなかたちや、いろなあに 鑑賞 など

1年生 4月 第2週 4月13日(月)～4月17日(金)

テーマ

いよいよ勉強！自分で生活！

授業に向かう意識や態度を身につけ楽しく学習する。また、幼稚園や保育園との違いに気づき、小学校での学習に対する好奇心を高める。

ねらい

- 学校での生活の仕方を知り、自分のことは自分でしようとする。
- 授業中は、自分の席に座り、教師や友だちの話をしっかりと聞き、
- 学習の流れを知り、学習への意欲をもつ。
- みんなで楽しく給食を食べることができる。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 朝の準備など、身の回りのことを自分でする。
- 自己紹介をしたり、さまざまな場面で自分の考えや思いを言葉で相手に伝えたりする。
- しりとりなどの文字遊びや、友だちとのつながり遊びを活かす。
- 正しい箸の使い方を確認し、楽しんで給食を食べる。

生活の視点**なかま**

- 自己紹介を通して、自分のことを言葉で伝え、相手の話をしっかりと聞き、知ろうとする。
- クラスの友だちと遊びや生活をともにする中でかわりを広げる。
- 授業を受ける時は、教師や友だちの話をしっかりと聞く。

げんき

- チャイムを合図とした時間の区切りがあることを知り、時間を意識して行動する。
- 授業準備(教科書、ノート、筆記用具などを机の上に出す。休み時間にトイレに行く)をする。
- 休み時間と授業時間の切り替えができ、集中して授業を受ける。

じぶん

- 自分の名前を相手に知ってもらい、相手の名前も覚えることで親しみを深める。
- クラスの友だちの良いところを見つけ、親しみをもつ。
- 集団生活の中で、周りの状況を理解しながら、自分で考えて行動する。

まなび

- 教材や道具に親しみ、積極的に学習に取り組む。
- 正しいえんぴつのもち方や文字の書き方、正しい発声の仕方を身につける。
- 簡単なひらがなや数字遊びを通して楽しく学ぶ。

家庭・地域

- 学級懇談を通して、保護者と授業内容について共有した内容に基づいて、家庭と連携した教育につなげる。

幼稚園・保育園

- 幼稚園や保育園で取り組んできた遊びを通して学びの内容について共有し、小学校での教育課程に活かしていく。
- 幼稚園・保育園の保育者と連携し、子供それぞれの特徴を理解する。

小学校

- 教師間で児童の様子に対する情報交換を行い、児童が小学校生活に慣れるように指導内容の改善・工夫を行う。

指導のポイント

学校生活の仕方を教える

- 運動場・保健室・職員室・体育館・図書室など生活に必要な場所を教える。
- さまざまな場所の使い方やそこでのルールを伝える。
- チャイムを合図とした時間の区切りを知らせ、休み時間は元気に体を動かして過ごせるようにする。

学習規律を教える

- イスの座り方やえんぴつのもち方などを繰り返し丁寧に指導する。
- 「～です」「～ます」を使った発表の仕方を教える。
- 運筆や音読などの学習を行い、学ぶ意識を高める。

新しい友だちをつくれるようにする

- クラスで自己紹介をし、友だちを知るきっかけをつくる。
- 体育や生活の時間に、集団遊びを取り入れ、クラスの友だちとのつながりをつくる。
- 下校時に同じ地区の友だちの顔や名前を覚えるように声をかける。

環境づくり

児童・教師との関わり

長い休み時間には、担任は児童と一緒に運動場に出て共に過ごし、教師間連携を密にし、教室以外で過ごす児童の安全を確保する。

図や文字を掲示する

椅子の座り方や鉛筆の持ち方、受け答えの仕方などを図や文字を用いて教室に掲示し、常に意識できるようにする。

友達を知るきっかけづくり

自己紹介カードや、名刺交換遊びなどを通し、友達と関わったり、掲示したりして、お互いを知るきっかけにする。

<4月第2週 主な行事予定>

交通安全教室 1年生給食開始 15日～ 16日 全校参観日

学習内容例 第2週目 ※1時間の弾力的な使い方 20分5分休憩 20分など

朝の活動～6年生との交流⇒読み聞かせ・手遊び・校歌・学校クイズなど

～登校したら、自分でできるように～

- ① ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート掛けにかける。
- ② 提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまう。(ロッカーの使い方)
- ③ 朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認(下校先の確認)

国語

「はるがきた」「ひらがな し・く」 音読に親しむ 読み聞かせ
・おはなしききたいな

算数

「くらべたことあるかな」「おおいのはどちらかな」「なかまづくりとかず」
「たりるかな」・おなじかずのなかまをさがそう

生活

「わくわく どきどき はじめのいっぽ」「がっこうをたんけんしよう」
・どんな人とあったかな ・どんな先生がいるのかな

学活

・身支度や手洗いの仕方 給食指導 配膳員さんの紹介(指導案あり)

体育

・整列の仕方 ・体ほぐし ・笛の合図 など

音楽

「うたってうごいて、みんなでおんがく」

図工

「すきなかたちや、いろなあに」 鑑賞 など

1年生 4月 第3週 4月20日(月)～4月24日(金)

テーマ

お仕事、始まるよ!～勉強も頑張ろう～

給食や朝の会などの際に、当番としての役割を理解し、自分から行動する。また、基本的な学習規律を身につける。

ねらい

- 友だちと協力してさまざまな活動に取り組む。
- 一人一人が自分の役割を理解し、責任をもって自ら行動する。
- 学習環境を整えて、スムーズに勉強できるようにする。
- 当番(日直、給食)の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 朝の身支度を始め、基本的な生活習慣が身につく。
- 道具や身近なものを使って数を数えたり、鉛筆を使って文字や数字をかいたりして遊ぶ。
- 自分が経験したことを、友だちの前で話す。
- 絵本を読むことを通して、文字や言葉にふれる。

生活の視点

なかま

- 教師や友だちの話を正しい姿勢で、しっかりと聞く。
- 友だちに話をきいてもらえる安心感を覚え、親しみをもって行動する。
- 給食の準備やそうじなどで、友だちと声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。

げんき

- 身の回りのことや給食の準備、後片づけなどを自分で考えて行動する。
- 学校のルールを理解し、守りながら楽しく過ごす。
- 食材や、それを育てている人、調理している人に感謝の気持ちを持ち、好き嫌いをせずに食べる。

じぶん

- 自分が体験したことや思ったことを自分の言葉で伝える。
- 遊びを通して、友だちとのかかわりを広げる。
- 友だちの良いところを見つけて、かかわりを深めようとする。

まなび

- これまでの生活や遊びの経験を小学校の学習につなげ、活かしながら積極的に学ぼうとする。
- 学習する姿勢を身につけ、正しい姿勢で授業を受ける。
- 声を出すことによって、正しい言葉づかいや文字を覚える。
- これまでの生活や遊びの経験を、学習活動に取り入れる。

家庭・地域

- 個人懇談を通して、家庭での生活態度や配慮が必要なことなどについて把握する。
- 学校で教えていること(えんぴつのもち方など)を保護者にも伝え、家庭と一緒に身につけさせていく。

幼稚園・保育園

- 幼稚園・保育所の保育者も授業参観に参加してもらい、就学前教育・保育と小学校教育の違いや、共通することについて理解をはかる。

小学校

- 学年部会などで生活上の約束やルール(給食など)を統一する。
- 他の小学校での取組などを情報共有し、参考になる取組を自校でも実施する。

指導のポイント

学習規律を身につけさせる

- 授業を受ける際に、正しい姿勢や受け答えの仕方を身につけさせる。
- ノートや筆箱などの教材の置き方・使い方を知らせる。
- チャイムを意識して行動できるように指導する。

給食指導を通して
給食に興味をもたせる

- 安心して給食を食べられるように個々に配慮する。
- 箸、食器の正しい使い方を知らせる。
- きめられた時間内に食べられるよう見通しをもたせる。

自分の役割を意識させ
協力関係をつくらせる

- 当番活動や班活動においては互いに協力しながら取り組むように声かけをする。
- 食べられる量を配膳して、残さず食べられるように指導する。
- 給食当番の仕事を責任をもって取り組むように指導する。
- ほうきやちりとり、ぞうきんなどのそうじ用具の使い方やそうじの仕方を指導する。

環境づくり

学習規律の共有・統一

学校内で異なる授業においても学習規律を共有・統一することで、子供への定着を図る。

楽しく給食できる環境づくり

机をくっつけたりしながら子供同士で楽しく食べられるように工夫する。食材や献立表を掲示し、食や栄養に関する興味・関心を高める。

時間割・ルールの掲示

一日や一週間の見通しをもった学校生活を送れるように、授業内容なども記載した時間割を掲示する。授業中や休み時間などのルールを掲示する。

<4月 第3週 主な行事予定>

視力検査 個人懇談 1年生を迎える会

学習内容例 第3週目

※1時間の弾力的な使い方 20分⇒5分休憩⇒20分など

朝の活動～6年生との交流⇒読み聞かせ・手遊び・校歌・学校クイズなど

～登校したら、自分のできるように～

- ① ランドセルを机に置き、ジャンパーと帽子をコート掛けにかける。
- ② 提出物を所定の場所に出し、学習用具を机の中に入れ、ランドセルをしまう。(ロッカーの使い方)
- ③ 朝のあいさつ・今日の連絡・健康観察・連絡帳の内容確認(下校先の確認)

国語

「なんていおうかな」「かくことたのしいな」「どうぞよろしく」
・ひらがな へ、い、り ・自分のなまえを書く しょしゃなど

算数

「なかまづくりとかず」
・おなじかずのなかまをさがそう ・5はいくつといくつ

生活

「どんなことをおもったかな」「じぶんたちであいにいこう」
・グループ決め ・感想交流 ・グループでの学校探検

学活

・係、当番 ・前期のめあて ・1年生を迎える会の練習

体育
音楽
図工

・体づくり運動 ・なわとび ・鬼あそび など
「手遊び歌、校歌」・1年生を迎える会の歌
「どんでんかくのはたのしいな」

1年生 4・5月 第4週～

テーマ

いよいよ時間割通り始まるよ!～宿題も頑張ります～

時間割に基づく学習活動を理解し、さまざまな学びに対する好奇心や意欲をもって、友だちと一緒に楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 時間割をもとに学習活動の流れをイメージし、時間を意識しながら行動する。
- 学習に対する好奇心や意欲をもって取り組み、学びを楽しむ。
- 話をしたり聞いたりする姿勢を身につけ、集団生活を送るうえでのきまりを知る。
- 掃除当番の仕方を知り、仕事をやりきる心地良さを感じる。

幼稚園・保育所の経験をもとに

- 時計を意識し、一日の見通しを立てて行動する。
- 言葉遊びを通して、読みかきに興味・関心をもつ。
- 図鑑や絵本を活用したり、実際に戸外で探したりして虫や植物への興味・関心をもつ。

生活の視点

なかま

- 周りの状況に応じて、相手に伝わるように声の大きさを調整する。
- 相手の意見を尊重しながら協同性をもって、学習活動や遊びを楽しむ。
- 学校の友だちと学校外でも遊べるようになる。
- 給食の準備やそうじなどで、友だちと声をかけあったりしながらスムーズにできるようにする。

げんき

- 授業のルール(手をあげて発表する、「ハイ」と返事をする、イスに正しく座るなど)を身につける。
- 学校生活のルール(チャイム時には着席など)を身につける。
- 授業時間と休み時間のけじめをつけ、休み時間は友だちと一緒に楽しんで遊ぶ。

じぶん

- 自分の意見や考えをもつとともに、相手の意見を尊重する。
- 友だちと一緒にいることに楽しみを感じ、かかわりを広げようとする。
- 自分がこれまで経験してきたことを活かしたり、自分の得意なものを新たに見つけたりする。
- 生活科を中心とした学習活動の中で、自然を観察し、生命の大切さを実感する。

まなび

- ノートや下敷きなどの学習用具の正しい使い方を身につける。
- ノートを活用して、文字や言葉を正しくかき写すことを身につける。
- 取り組むことがきめられた時間内は、そのことに集中して取り組む。
- 宿題を通して、学習することの楽しさを感じながら、家庭学習の習慣を身につける。

家庭・地域

- 登下校の際には、地域住民と連携しながら子供の安全の確保につとめる。
- 宿題をする習慣を身につけるように、保護者にも呼びかける。

幼稚園・保育園

- 保育者と小学校での授業中の子供の様子などを情報交換し、時間割に応じた生活や授業中の態度など、就学前に身につけさせたいことを共有する。

小学校

- 生活科を中心とした、合科的・関連的指導の仕方を話しあう。
- 授業の進め方や内容を統一する。

指導のポイント

楽しく宿題に取り組みさせる

- 宿題を頑張ったことを認め、褒めたり、励ましたりしながら学習意欲を高めるとともに、自己学習に対する自信をつける。
- 子供が宿題を楽しんで取り組めるような工夫をする。

協同的な学習活動を
経験させる

- さまざまな学習活動を友だちと一緒に頑張れるように、グループ学習や協同して学ぶ場を設定する。
- 学習の中での発見や課題を解決した喜びを友だちと共有できるようにする。

学校生活のルールを
定着させる

- 時間割にそって、自ら進んで授業準備ができるようにする。
- 授業と休み時間の区切りを定着させ、チャイムを意識した行動ができるようにする。
- 視覚教材を用いて、流れを提示することで、スムーズに行動できるようにする。

環境づくり

提出物コーナー

宿題など、学習活動における提出物を提出するコーナーを設け、自分で管理する習慣をつける。

学びを楽しむ機会づくり

生活科を中心とした学習活動の中で、言葉や数、ものの性質などさまざまな視点からの学習を進める。

当番表の活用

一人一人が自分の役割を理解し、責任を持って取り組めるように当番表を工夫し活用させる。また、その日のうちに給食当番について振り返りをし、反省・改善点を考えさせる。

<4・5月 第4週目 主な行事予定>

□4月28日(火) 聴力検査 □5月2日(土)～5月6日(水) ゴールデンウィーク

学習内容例 第3週 ※1時間の弾力的な使い方 20分⇒5分休憩⇒20分など

※朝の活動～6年生といつまで継続か確認

国語	「どうぞよろしく」「名前カードをかく、交流」「こんなものみつけたよ」 ・ひらがな う、て、の、ひ
算数	「なかまづくりとかず」 ・おなじかずのなかまをさがそう ・いくつといくつ ・6、7の構成
生活	「じぶんたちであいにいこう」「きれいにさいてね わたしのはな」 ・グループでの学校探検の反省など ・種の観察
学活	・がっこうのやくそく
体育	・走、跳の運動遊び、かけっこ
音楽	「手遊び歌、校歌」・1年生を迎える会の歌
図工	「どんどんかくのはたのしいな」

※宿題の開始時期 しっかりと書く習慣をつけられるように！

1年生 5月 第5週目～

テーマ

学校は楽しい! 友だちの輪を広げよう

学習や休み時間での遊びなどを通して、教師やともだちとの関係を深める。教科学習の基本的な学習の仕方を身につけ、話す・聞く・書くといった学びを友だちと楽しみながら取り組む。学校生活のルールを知り、身につける。

ねらい

- 学校生活や授業の流れを理解し、自分で行動できるようになる。
- 教科書の音読やノートの取り方など、教科学習の取り組み方がわかる。
- 担任とのかかわりを深め、周りの教師を知る。
- クラスの子供たちを認識し、友だちとしてのかかわりを広げる。

生活の視点

なかま

- 席替えや外遊びを通して、クラスの子供たちとふれあい、友だちとの関係を築いていく。

げんき

- 学校生活のルールを身につける。一日の学校生活の流れを見通す。
- 給食の準備や後片づけに慣れる。

じぶん

- 音読やスピーチを通して、みんなの前で発表しようとする意欲をもつ。異学年や教師とのかかわりを通して、校内にあるさまざまなものや場所、学校生活を支えている人などを知る。

まなび

- 教科書を使って、教科学習に取り組む。黒板の字をノートにかき、文字・数字をかく楽しさを感じる。
- 読書や図書の時間にさまざまな本にふれ、読書の楽しさを感じる。

指導のポイント

- チャイムや時計を意識して行動できるように促す。
- 音読やノートの取り方を、繰り返し指導する。
- 子ども同士の間関係が広がるよう促す。

環境づくり

- マス黒板など視覚的にわかりやすい掲示物を多用する。
- 授業時間だけでなく、休み時間も人間関係が広がるよう、みんなで遊びを取り入れる。

<5月 第2週～ 主な行事予定>

- 5月11日(月) 全校朝会
- おはなし屋さんイベント 尿検査
- 5月14日(木) 運動会特別時間割開始

1年生 6月

テーマ

学びを深めよう! 運動会もあるよ

ねらい

- 言葉や文字、数字をかくことに対する興味・意欲を高める。
- 集団行動のルールや態度を身につける。

生活の視点

なかま

- 教師の話や指示をしっかりと聞き、遊びを通して友達との関係を深める。

げんき

- 全体で指示を聞き、自分で行動できる。
- 集団行動(ルール・準備物)の仕方を学ぶ。

じぶん

- 自分の考えや思いをみんなの前に出て伝えようとする。

まなび

- 言葉集めを通して、多くの語句にふれたり、短い文をつくったりできる。
- たし算・ひき算を学習し、計算への興味・関心をもつ。

指導のポイント

- 子供の興味・関心が高まるように、教材を工夫する。
- 生活や学習の流れの見通しを感じて、行動できるように指導する。
- 宿題や提出物、学習用具などの忘れ物が多い子供の保護者と連絡をとり、安心して生活するために忘れ物をしないよう協力を依頼する。

環境づくり

- 間違いやつまずきを活かす指導を心がけ、子どものに寄り添いながら学習を展開する。

1年生 7月

テーマ

学びを振り返ろう! 楽しい夏休みまでもう少し

ねらい

- 前期前半の学習をまとめて振り返る。
- 自ら健康や安全に気をつけて生活することを意識する。(水泳学習のルールを理解する。)

生活の視点

なかま

- 友だちと約束し、学校外でも友だち達との関係を広げる。

げんき

- 夏休みの過ごし方を理解し、楽しく安全に過ごすようにする。

じぶん

- 前期前半の生活を振り返り、自身の努力や成長を実感する。

まなび

- 前期前半の学習が定着する。絵日記のかき方を学び、自分の思いを文章にする。

指導のポイント

- これまでの学習内容のまとめを通して、学習の定着を促す。
- 習ったひらがなを使って、自分の思いを表現する楽しさを感じさせる。

環境づくり

- 前期前半の学習を振り返り、子供自身が成長を実感できる機会をもつ。
- 人間関係の広がりやさまざまな行事を通して学んだことなどを、互いにわかちあえる場を設ける。

